

モノ作り!! 若手社員研修

2006年度版

貴社の若手はモノ作りの常識を知って仕事をしていますか？

若手社員研修と言えば、挨拶の基本や身だしなみなど“社会人としてのマナー”が主流です。製造業にとって、このような研修だけでいいのでしょうか？「なぜ、こんなに不良が増えたの？」私がそう聞くと、多く企業からは次のような声が返ってきます。「新人が作ったから…」「なぜ、こんなに生産性が低いの？」私がそう聞くと、多く企業からは次のような声が返ってきます。「新人が配属されたから…」このようになる理由は――。

ベテランが知っていて当たり前と思いこんでいた“製造業の常識”すら、新人が知らなかったからなのです。つい先日まで、学生であった若者や他の業種から転職して来た人が、

●なぜ不良が出てしまうのか？

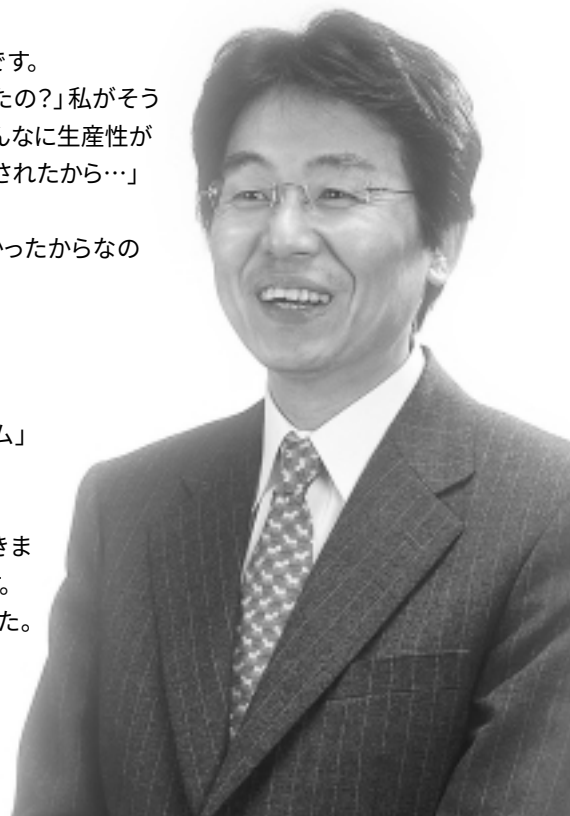
●なぜ計画通り作れないのか？

●なぜ生産性を上げなければならないのか？

その回答が的確にできる人はまずいません。ましてや、「リードタイム」「サイクルタイム」「能率」「工数」等々、製造業で日常的に使用される用語を理解している人となると、極めて少ないと思います。

このような“製造業の常識”を知って仕事をするのとならないのでは、雲泥の差が出てきます。一日でも早く“この常識”を教えてあげることが、業績向上の第一歩になってきます。当社は過去10年間、多くの製造業に“生産管理・品質管理・原価管理”を指導してきました。この研修は、長年の経験をベースにして企画したものです。その中身とは？

“組立ブロック玩具”と“紙”を活用したモノ作り体験セミナーです。



――生産管理と出会って30年――
株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士

西田 順生

研修会参加申込書

FAX 0761-57-1679

ふりがな			
会 社 名			
所 在 地			
T E L 番 号		F A X 番 号	
連絡担当者	部署名	氏名	
ふりがな			
参 加 者			
備 考			

※5名以上の参加の場合は、任意の用紙にて送信して下さい。

※やむを得ずキャンセルされる場合、各開催の2日前までにご連絡願います。

※入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。

※当社代表取締役 西田順生は、わが国の「技術士法」によって、“守秘義務” 信用失墜行為の禁止”が課せられていますので、ご安心ください。

研修会のねらい

業界の特徴、業界用語、品質・納期・コストの重要性、モノ作りに必要なものは何か？等々について、“組立ブロック玩具”と“紙”を活用し、製造業の常識を体験していただきます。

研修会の特徴

- ①「製造業の常識」を“体”で学ぶことができます。
- ②グループ演習を取り入れますので、本人が力量を自覚できます。
- ③「研修レポート」によって、研修会の効果を高められます。
- ④2名の講師、プラス1名の運営担当が従事しますので、きめ細かな指導が可能です。
- ⑤参加者全員に対しまして、修了証を発行いたします。

研修会の開催要領

■対象／入社1～5年目の男女（全職種対象）

■日時／2006年11月18日(土) 9:00～17:00

■場所

(財)石川県地場産業振興センター 新館5階 第13研修室
(〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 TEL076-268-2010)

■参加費／お一人様19,500円(税込み)

※昼食代は含んでおりませんのでご了承下さい。

※1社4名以上お申し込みの場合は、全員10%割引致します。

■定員／30名

■申込方法

表面の申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、FAX(0761-57-1679)にてお送り下さい。後日、FAXにて受講票及び、請求書を送信させていただきますので、参加料金を指定口座へお振込み下さい。

■問い合わせ先

株式会社 西田経営技術士事務所

〒923-1114 石川県能美市小杉町イ240番地1

TEL0761-58-6535 FAX0761-57-1679

http://www.ni-g-j.co.jp E-mail:daihyou@ni-g-j.co.jp

お問い合わせ担当者:総務 西田美智代

研修会のカリキュラム

【セッションⅠ】作業効率の良し悪しを体験する

“組立ブロック玩具”とグループ演習によって、次のことを学んでいただきます。

- ①5Sを実施すれば、作業効率が上がるんだ
- ②効率よく仕事しないとダメなんだ
- ③お客様の納期は、守らなければならないんだ
- ④分業すると早く作れるんだ

【セッションⅡ】段取の重要性を体験する

セッションⅠと同様の体験学習で、次のことを学んでいただきます。

- ①モノ作りには、段取が必要なんだ
- ②だれでも訓練すれば、上手になるんだ
- ③目標を持つと、早く作れるんだ
- ④リーダーがいると効率よく作れるんだ

【セッションⅢ】不良とは何かを体験する

“紙”とグループ演習によって、次のことを学んでいただきます。

- ①不良品を作ることは悪なんだ
- ②モノ作りには、道具(ジグ、設備)が必要なんだ
- ③材料はムダにしてはいけないんだ

【セッションⅣ】会社について理解する

セッションⅢと同様の体験学習で、次のことを学んでいただきます。

- ①会社って、売上を増やさないとダメなんだ
- ②会社って、利益を上げないとダメなんだ

【セッションⅤ】常識用語を覚える

製造業で使われる“常識用語”について、上記の体験学習の中から学んでいただきます。

●指導する用語の例

「5S」「QCD」「QCサークル」「ISO」「リードタイム」「不良率・歩留まり率」「クレーム」「検査」「在庫品、仕掛品」「レイアウト」「記録」「生産計画」「外注先」「工数」「受注生産・見込み生産」「改善」その他

【セッションⅥ】研修レポート

学んだことが帰社後すぐ実践できるよう、カリキュラムごとに“設問方式の研修レポート”を課し、翌日までにFAXを義務づけます。これが提出されない場合は、修了証は発行しないこととし、研修の効果向上を狙います。

実績!

【研修名:モノ作り!! 新入社員研修2006年度版】

●自社主催／2006年4月7～8日、13～14日 8社21名参加

●個別企業への出張開催

2006年4月12日、4月24～25日 2社24名参加

【研修名:新入社員研修2006年度版】

●旭丘工業団地協同組合様

2006年4月5日～6日 企業数9社70名参加

●石川県鉄工団地協同組合様

2006年4月18日 企業数7社27名参加

※上記2つの研修会では、主に“社会人の基礎”について研修を行いましたので、今回ご案内したチラシの“モノ作り体験学習”は、極一部のカリキュラムしか実施しておりません。

受講者の声

- ◎2年生ですが、今までの仕事の仕方に見直す所がいくつもあり、とても参考になりました。(金沢市の喜多成美氏)
- ◎実際に道具を使った研修会だったので、すごくわかりやすく良かったです。(金沢市の南修平氏)
- ◎実際に手で触れてみるということが重要なことだと思いました。(白山市の稲葉清司氏)
- ◎他の会社の人とのグループワークがとてもよかったです。(小松市の関真奈美氏)

講師プロフィール

【メイン講師】西田 順生

にしろ じゅんせい／製造業専門のコンサルティング会社 株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士(経営工学部門)

●略歴／1981年、神奈川大学工学部工業経営科卒業。1981年、(株)金沢村田製作所へ入社。以後、(株)小松村田製作所、(株)ナナオにて、生産管理、外注管理、購買業務の実務を経験。1995年、国家資格技術士(経営工学部門)に合格。1996年、処女作「ISO9000に強くなる本(泉文堂)」がベストセラーとなる。1996年、独立。北陸三県、関東、関西にて、生産管理、品質管理、原価管理、ISO9000の指導で実績を上げる。2004年、6作目の著書「粗利を2倍にする価格決定論(PHP研究所)」が話題を呼び、みずほ銀行、りそな銀行、日本経営合理化協会、盛和塾等々にて、講師を担当。優良企業での実務経験とコンサルティング現場で培ったノウハウを活かした明快な指導には定評がある。(詳細な指導実績は、http://www.ni-g-j.co.jp参照)

●主著／「粗利を2倍にする価格決定論(PHP研究所)」 「生産革命 変種変量生産しか儲からない(泉文堂)」 「一目でわかるISO9000(インデックス・コミュニケーション)」 他3冊、日経BIZホームページ連載。

●主な公職／東京商工会議所、金沢商工会議所、石川県産業創出支援機構:登録経営アドバイザー、(財)日本規格協会:ISO9000審査員 など

【サブ講師】小畑 匡弘

こばた まさひろ／1965年、同志社大学工学部機械工学科卒業後、リコー時計(株)を経て、(株)村田製作所へ入社。退職後、人材派遣会社にてスタッフの指導育成に従事。現在、(株)西田経営技術士事務所 主任コンサルタント。